

設定時間、設定場面、設定状況。体験的、実践的な避難訓練にするための改善の視点

朝、始業前に地震が発生。児童・生徒は校庭で遊んでいたり、教室や体育館で部活動や委員会活動をしている等、様々な状況である。

【A-1】始業前、放課後 【C-(5)】教職員の役割分担を明確化する

1 時間・場所等

午前8時15分、地震が発生する設定。校庭集合後、全体指導を行う。(計10分間)

2 避難訓練の時系列及び児童・生徒及び教職員の動き

時間等	設定状況等	児童・生徒の動き等	教職員の動き
8時10分	<ul style="list-style-type: none"> ●始業前、児童・生徒が校庭、体育館等、校舎内の様々な場所で様々な状況 ●教師も同様の状況 ●緊急地震速報発報 	<ul style="list-style-type: none"> ●まず、自分が現在いる場所で安全行動をとること。周囲に教師がいない場合でも、『落ちてこない・倒れてこない・移動してこない』空間かどうか、想起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急地震速報のチャイム音を放送する。 ●校内放送で「訓練。大きな地震です。『落ちてこない・倒れて来ない・移動してこない』に留意すること。」等と周知する。 ●校庭、体育館、各学年フロア、職員室等、普段、自分がいる場所で地震が発生した場合を想定して対応する。
8時11分	<ul style="list-style-type: none"> ●校庭に向けて避難開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●校内放送で「訓練。大きな地震です。揺れが収まったら、校庭に集まりましょう。『お・か・し・も』を守りましょう。」と周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●校内放送で「訓練。揺れが収まりました。校庭に集まりましょう。『お・か・し・も』を守りましょう。」と周知する。 ●地震が一端収束したあと、児童・生徒の安全確認を行う学級担任と、校舎内の状況把握(負傷者の有無、構造物・非構造物の被害状況等)をする教員等、教職員の役割分担を明確化して訓練に臨む。
8時15分	<ul style="list-style-type: none"> ●校庭で点呼を取り、児童・生徒の安全確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●校庭に学級ごとに参集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●担任教員は、校庭で待機する。 ●担任が不在の学級を敢えて設定し、担任業務を代行する別の教員を用意しておく。 ●不在の児童・生徒を把握する。欠席・遅刻の場合も考慮しつつ、安否確認を行う。 ●所在不明の児童・生徒を敢えて設定し、その場合の所在確認について、どのような手順で誰が行うのか、職員の対応訓練を同時平行で行うことも有効である。
8時17分 (3分間)	<ul style="list-style-type: none"> ●講評 【全校一斉指導】 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震が発生した際に教師が身近にいない場合でも、落ち着いて安全な行動をとることが重要であることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校にいるとき、いつも教師が身近にいるとは限らない。一人でいるときや、友達といるときに地震が発生しても、慌てずに、まず自分の身を自分で守り、その後、指示に従って慌てずに避難し集合することを確認する。

※ 本実施計画例の場合は、地震後、校庭に集合する訓練を想定したが、校庭ではなく、各学級に集合する訓練も必要である。「始業前や放課後の地震発生」の場合、児童・生徒の安全確保とともに、その所在確認が重要である。このことを踏まえ、学校の実情に合わせて工夫することが重要である。